

## 自治体向け「健康ポイント事業」支援サービスを開始

～低予算で現代にマッチした「健康ポイント事業」～

ヘルスケアサービス、医療系人材サービスを行う株式会社グッピーズ(東京都新宿区・代表 肥田 義光)は健康管理アプリ「グッピー ヘルスケア」をベースに自治体向けにカスタマイズした「グッピー ヘルスケア for City」を提供開始しました。



スマホを利用した健康管理アプリ「グッピー ヘルスケア」では歩数・体重・食事・睡眠・運動など15種類以上の健康管理に必要な機能を搭載しています。多機能で使いやすい健康管理アプリとして、個人だけでなく法人にも高い評価をいただいております。

この度、「グッピーヘルスケア」をベースに、自治体向けに低コストで健康ポイント事業が行える「グッピー ヘルスケア for City」のサービスを開始しました。「グッピー ヘルスケア for City」では、15種類以上の既存機能に加え、自治体専用のコンテンツを追加し、参加人数に関係なく、定額料金、低コストでご利用いただけます。

### < グッピー ヘルスケア for Cityの機能 >

- ・15の健康管理機能
- ・自治体の情報ページ
- ・メッセージ送信
- ・健康ポイント付与
- ・ポイントで抽選・プレゼント
- ・管理画面で市民の健康活動を把握 など

歩数計、活動量計を使った健康ポイント事業を行う場合、歩数計やリーダー装置の設置など多額の投資が必要となります。スマホアプリのみで参加可能な「グッピー ヘルスケア for City」を利用することにより、参加人数も制限せず、低コストでより多くの市民の健康増進を行うことが可能です。

## <医療費削減のポイント>

医療費削減には、若年層から働き世代の30～50代の生活習慣の改善(予防・健康管理)が重要です。

## <自治体 健康ポイント事業の課題>

- ・若い世代の参加者がなかなか集まらない
- ・集まっても健康意識が高い人
- ・1人あたりのコストが高い
- ・いろいろと手間がかかる
- ・参加人数に制限がある
- ・継続しないと意味がない

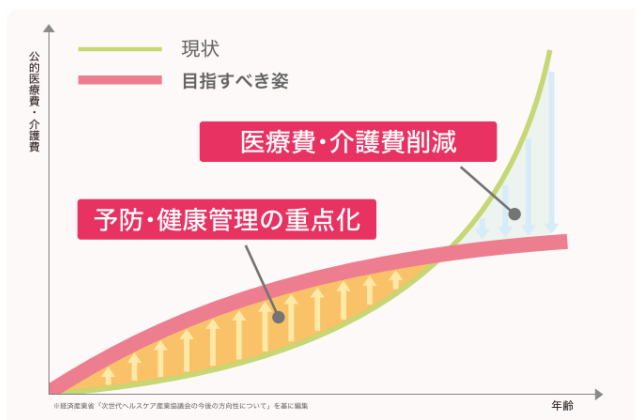
## <スマホのメリット>

- ・スマホ所有率は74.3%(※1)
- ・60代で56%、70代でも31%が所有(※2)
- ・デバイス(歩数計、ウェアラブル等)の購入が不要
- ・参加者のスマホへメッセージを送れる
- ・歩数だけでなく様々な健康管理ができる
- ・何人参加してもコストは変わらない
- ・事業終了後も市民はアプリを継続して利用してもらえる

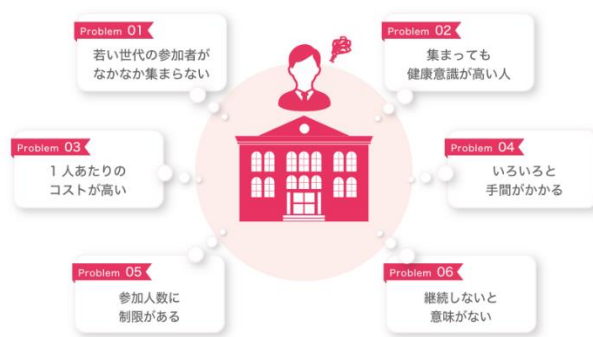
※1 「2010年-2018年一般向けモバイル動向調査」より

※2 「2017年-2018年一般向けモバイル動向調査」より

## 医療費削減のポイントは予防投資！



## 健康ポイント事業の課題！



## ■株式会社グッピーズ 概要

法人名 株式会社グッピーズ GUPPY's Inc.  
代表 代表取締役 肥田 義光  
本社 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル13F  
資本金 3000万円  
設立 2000年9月  
URL <http://www.guppy.co.jp>  
業務内容 ・健康管理アプリ「グッピーヘルスケア」の運営  
・求人情報サイト「グッピー求人」の運営  
・インターネットコンテンツの企画・制作

## ■本件に関するお問い合わせ先

株式会社グッピーズ  
ヘルスケアチーム  
Tel/03-5908-3883  
Fax/03-5908-3881  
<https://guppy.healthcare>  
e-mail: [hc@guppy.co.jp](mailto:hc@guppy.co.jp)